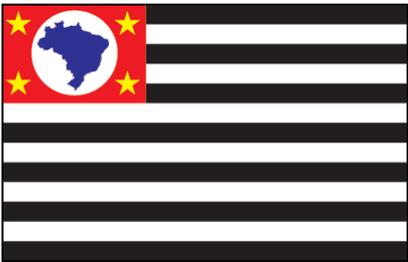


第18章 サンパウロ州

サンパウロ州 (o Estado de São Paulo) / 略称「SP」	
州旗	位置
	
	<p>黒、白、赤の三色がブラジルを構成する人種を、国土の形を取り囲む4つの星が南十字星を、それぞれ表している。</p>
面積、人口 (2010年)	面積 248,209 k m ² (全国 12位)、人口 41,252 千人 (全国 1位)
域内総生産 (2008年)	1,003,016 百万レアル (全国 1位)、一人当たり 24,457 レアル (全国 2位)
州都および人口の多い都市 (人口は 2010年)	州都：サンパウロ (州都) (11,244 千人) その他都市：グアルーリョス (1,222 千人)、カンピーナス (1,081 千人)、サン・ベルナルド・ド・カンポ (765 千人)、サントアンドレ (674 千人)、オザスコ (666 千人)
略史	ヨーロッパ人による最初の入植は 1532 年に始まった。1822 年の独立後、州北部の土壌がコーヒー栽培に適していることが発見され、主産業の軸足がサトウキビからコーヒーへと移った。また、産業の移り変わりに伴って内陸部の開発が進み、州都サンパウロも 19 世紀の後半から急速に市域を拡大した。1888 年の奴隷制廃止を受け、コーヒー農園での労働者として日本人移民が向かった先も主にこのサンパウロ州であった。
産業動向	域内総生産は他州と比較して群を抜いて高く、2 位のリオデジャネイロ州のほぼ 3 倍である。サンパウロ 1 州のみで、全国の 3 分の 1 程度の付加価値を生み出している計算となる。 現在のサンパウロ州の産業は農林水産業や鉱業への依存が低い構造にある。製造業が域内総生産の 4 分の 1 を生み出しており、同州産業の主力となっている。産業集積が著しいことから、「金融、保険、年金」「企業向けサービス」などの分野の割合も他州と比べて高い。

I. 概要・投資促進政策

I-1. 概要

サンパウロ州はサンパウロ市を中心として周辺地区を含めた大都市圏である。サンパウロ州はブラジルにおける工業・商業・金融の中心地である。サンパウロ州は人口も多く、消費地としても魅力的である。また、サンパウロ州は気候と土壌に恵まれることから、農業にも適した土地である。

サンパウロ市はサンパウロ州の中心地である。サンパウロは大都市であるため、地価が高く、過密による交通渋滞も深刻である。そのため、製造業などはサンパウロ市ではなく周辺都市に立地する傾向がある。サンパウロ市内には金融業を中心としたサービス業が多く展開している。

I-2. 投資促進政策

① 恩典概要

投資の際には、州税および市税の恩典が受けられる可能性がある。ただし、この恩典の詳細についてはすべて州政府との個別交渉となっている。

② 誘致機関

ブラジルの最大消費市場であるサンパウロ市では、州への投資を促進するための機関として、INVESTE SÃO PAULO（サンパウロ州政府投資誘致機関）を設立している。

INVESTE SÃO PAULOはサンパウロへの企業誘致を行う機関として2008年に設立された。同機関は、市場環境調査や、最新の法制度や規制に関する情報収集を行っており、ブラジルに進出する企業に対して情報を提供している。同機関は企業に対して、進出実行支援として立地場所の選定や視察に協力するほか、税制等の面で優遇措置を受けるために、州政府と交渉をする際の手助けも行っている。また、実際にブラジル市場に進出した後に予期せぬ問題が起きた場合は、解決の手助けを行っている。

図表 18-1 サンパウロ州政府投資誘致機関の連絡先

住所	Rua Bela Cintra, 847 - 6º andar Consolação - CEP 01415-903 São Paulo - SP
電話	+55(11)3218-5747
E-mail	ホームページ上のフォームからコンタクト
URL	http://www.investimentos.sp.gov.br/portal/sobre?lang=en
対応言語	ポルトガル語、英語

③ 相談先

日本企業にとって、ブラジル進出の際の重要な相談先としては、ジェトロ・サンパウロ・センターおよびブラジル日本商工会議所が挙げられる。ジェトロ・サンパウロ・センターへは、日本の HP よりコンタクトをとる必要があり、直接のコンタクトは受け付けていない。

図表 18-2 ブラジル日本商工会議所（Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil）の連絡先

住所	Av.Paulista, 475 - 13º andar CEP: 01311-908 São Paulo - SP
電話	+55(11)3287-6233
E-mail	secretaria@camaradojapao.org.br
URL	http://jp.camaradojapao.org.br/
対応言語	日本語、ポルトガル語

図表 18-3 ジェトロ・サンパウロ・センターの連絡先

住所	Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista, CEP 01419-001, São Paulo-SP
電話	+ 55(11)-3141-0788
URL	http://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/br_saopaulo/
対応言語	日本語

II. インフラ

ここでは、サンパウロ州が保有するインフラについて記載する。

II-1. 道路（ハイウェイ）

サンパウロ市中心部を中心として、四方に張り巡らされており、利用は基本的に無料である。近年、整備が急速に進んでおり道路状況が改善されつつある。

最近では、一部区間の道路の利用が有料になっているものの、料金は非常に安く、区間も短い。

図表 18-4 ハイウェイ（幹線道路）マップ



(出所 : INVESTE SÃO PAULO)

II-2. 鉄道網

① 広域鉄道網

鉄道網もハイウェイと同様に、サンパウロ市を中心として、四方に張り巡らされている。鉄道網はあまり発達しておらず、主要な輸送手段となっていないのが現状である。

図表 18-5 サンパウロ州 鉄道マップ

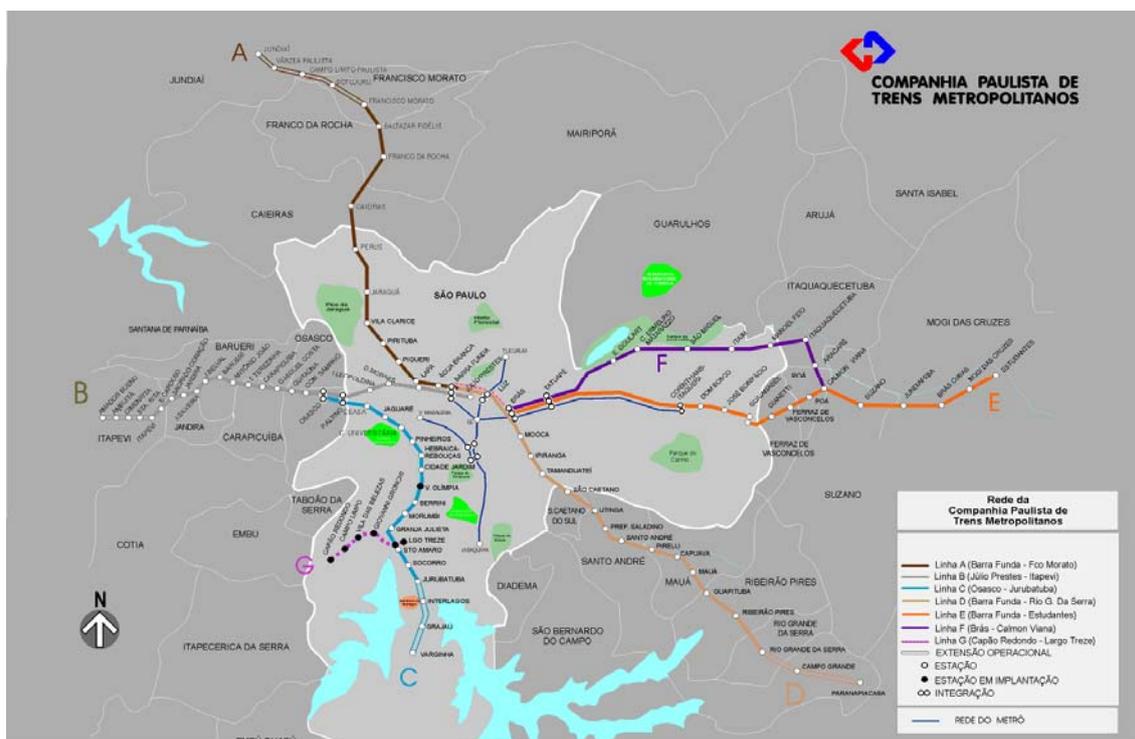


(出所 : INVESTE SÃO PAULO)

② 中心部地下鉄との接続

サンパウロ市内に走る地下鉄は、郊外へとつながる鉄道に繋がっており、サンパウロ市郊外の主要な地域を結んでいる。

図表 18-6 サンパウロ近郊鉄道網



(出所：Companhia do Metropolitano de São Paulo - METRÔ-SP)

II-3. 港湾

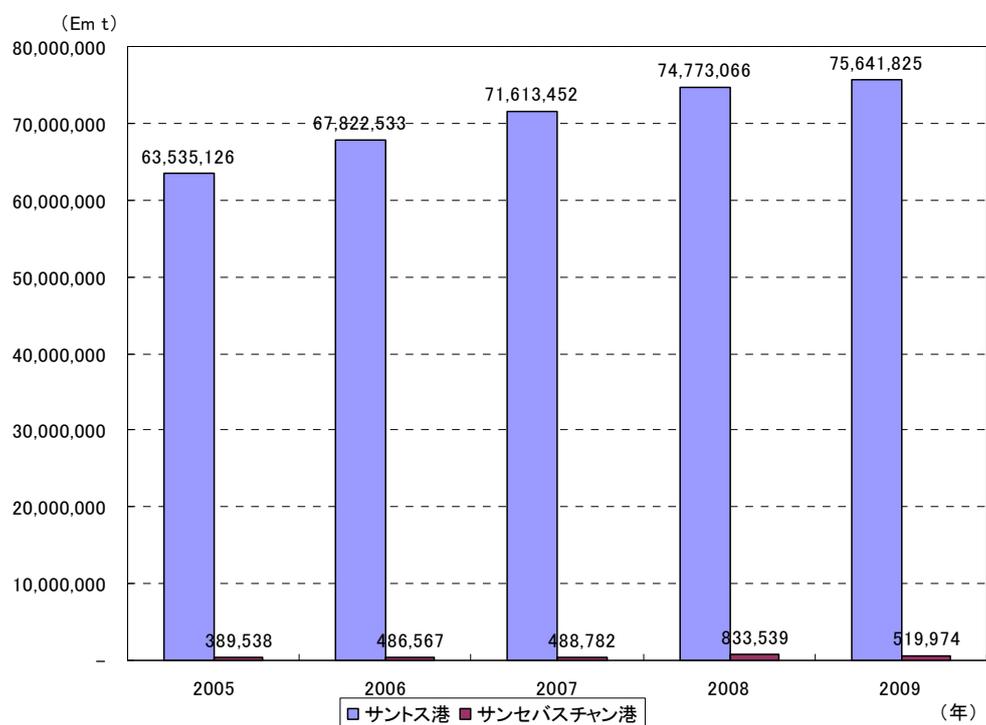
サンパウロ州は南側が海に面しており、二つの港を有している。以下にその二つの港の特徴を示す。

図表 18-7 サンパウロ州 港湾の概要

港名	特徴
サントス港	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル最大の船荷取扱量の港湾 砂糖、大豆などの農作物や、一般貨物を取り扱うほか、サンパウロ周辺の製造工場に関連する物品を取り扱う
サンセバスチャン港	<ul style="list-style-type: none"> 製鐵品、車輛、器械、原油等を取り扱う

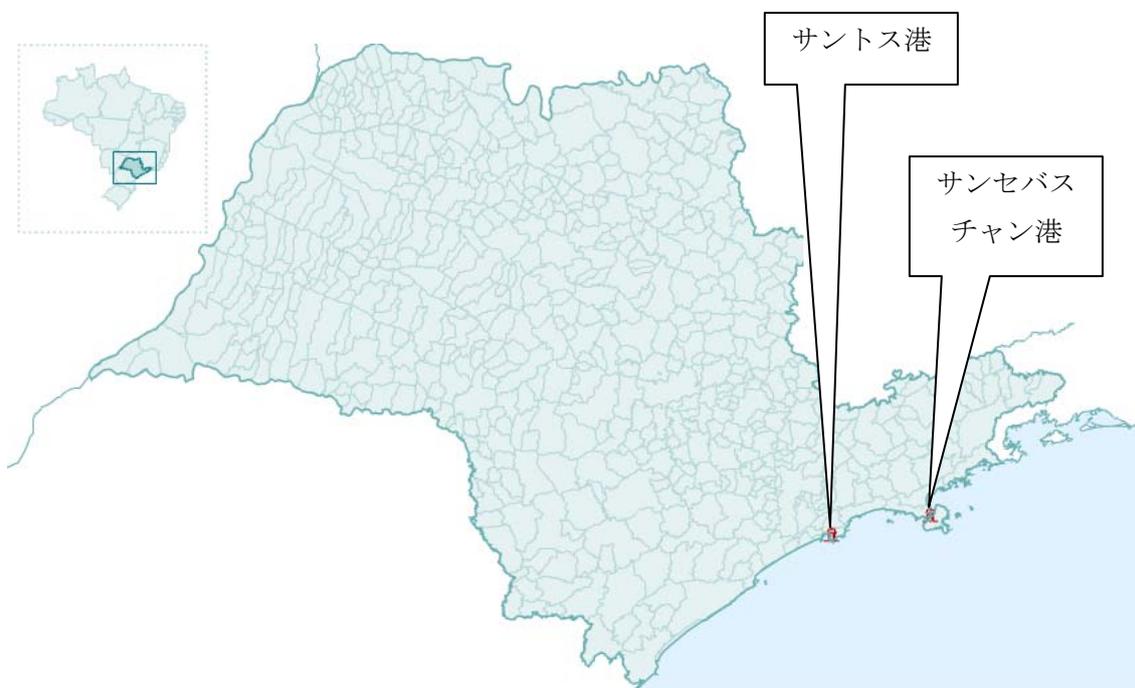
(出所：各種資料より (株) 日本総合総研究所作成)

図表 18-8 サンパウロ州主要港湾取り扱い船荷量推移 (2005～2009年)



(出所: ANTAQ)

図表 18-9 港湾の位置マップ



(出所: INVESTE SÃO PAULO)

II-4. 空路

① 空港

サンパウロ州には、サンパウロ市都市圏に位置するコンゴニャス国際空港、グアルーリョス国際空港、ヴィラコッポス国際空港の3空港の他、数多くの地方空港が存在している。

サンパウロ近郊の3つの空港は、その特徴に応じて住み分けがされている。カンピーナス市にあるヴィラコッポス空港は、グアルーリョス空港ができるまでの間、サンパウロの主要な玄関口として機能した。コンゴニャス空港はサンパウロ中心市街地からほど近く、国内線用の空港として利用されている。

図表 18-10 サンパウロ州 主要空港の指標 (2009年)

	最長滑走路長 (m)	航空機	乗客数(人数)	航空貨物+郵便 (トン)
		発着回数		
グアルーリョス国際空港	3,700	209,636	21,727,649	382,723
コンゴニャス国際空港	1,940	193,308	13,699,657	29,247
ヴィラコッポス国際空港	3,240	55,261	3,364,404	184,745

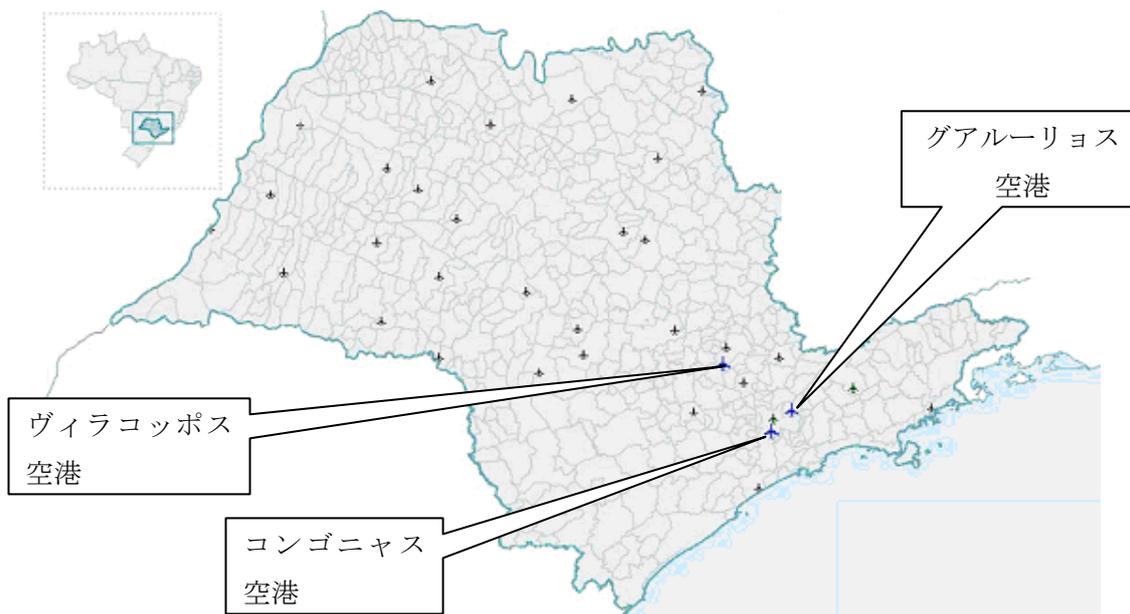
(出所：ANAQ)

図表 18-11 サンパウロ州 国際空港の概要

空港名	特徴	就航路線
コンゴニャス国際空港 (IATA 空港コード：CGH)	<ul style="list-style-type: none"> サンパウロ市中心部から近い。 住宅街の真ん中に位置するとともに滑走路が短い。 	国内線が主。
グアルーリョス国際空港 (IATA 空港コード：GRU)	<ul style="list-style-type: none"> コンゴニャス国際空港が手狭になり開港。 コンゴニャス国際空港よりは中心部から遠いものの大型機の離着陸も可能。 	ハブ空港となっている。
ヴィラコッポス国際空港 (IATA 空港コード：VCP)	<ul style="list-style-type: none"> カンピーナス市郊外に位置。都心から非常に遠い。 大型機の離着陸が可能。 	国内、国際貨物便の取扱が主。

(出所：各種資料より (株) 日本総合総研究所作成)

図表 18-12 飛行場マップ



(出所 : INVESTE SÃO PAULO)

② 国内線就航航空会社

主な国内線就航航空会社として、以下の2社が挙げられる。

図表 18-13 主な国内線就航航空会社

航空会社名	URL
GOL 航空 Gol Transportes Aéreos S.A	http://www.voegol.com.br/
TAM 航空 TAM Linhas Aéreas S.A	http://www.tam.com.br/

(出所 : 各種資料より (株) 日本総合総研究所作成)

III. 工業団地

サンパウロ市近郊の主な工業地帯は、『ABC 地域』と総称されている地域である。これは、サンパウロ都市圏に位置する

- ・ Santo André 市
- ・ São Bernardo do Campo 市
- ・ São Caetano do Sul 市

の3都市の総称である。

現在、サンパウロ市からこれらの都市に向かう近郊鉄道の整備が計画されており、今後のさらなる発展に期待が寄せられている。

IV. 進出日系企業と現在直面している課題

IV-1. 進出日系企業

サンパウロ総領事館に届出がされている日系企業数の総数は 160 社である（外務省「海外在留邦人数調査統計 平成 22 年度」）。サンパウロは経済の中心地であり、日本からも多くの金融・保険業の企業が展開している。近年は、一大消費都市であるサンパウロ市の近くに工場を構える企業も増え、日本からもトヨタやホンダ、東芝、パナソニック、ヤクルトなどのメーカーが進出している。

IV-2. 現在直面している問題

サンパウロでは労務費の高騰が直近の問題となっている。優秀な人材、特に外国語を使える人材の需給は逼迫しており、その確保に係るコストが上昇が指摘される。

V. 生活環境

V-1. 住宅事情

① 住居タイプ

サンパウロ中心部は、多くのアパート（マンション）が立ち並んでおり、高層マンションも珍しくない。また、厳重なセキュリティ設備が付帯されていることが多く、地下に駐車場が設置されているのも一般的である。

日本人がサンパウロで住む場合、多くの人が入artment（マンション）に住んでいる。アパartment（マンション）の種類は大きく分けると 3 種類ある。種類とその特徴を以下に挙げる。家具付きのアパartmentを選択すると日本からの持込が少なくてすむため便利である。

図表 18-14 アパartmentの種類

種類	特徴
Apartamento (アパartmentメント)	マンション。通常浴室が 2 室以上あり、お手伝いさん用の部屋も存在。
Apartamento mobiliado (アパartmentメント・モビリアード)	家具付きアパartment。上記に加え家具や電気製品付き。
Flat(フラッチ)	キッチン付き長期滞在型ホテル。

(出所:「サンパウロ/リオデジャネイロ/マナウスに暮らす」,ジェトロ・サンパウロ・センター)

② 日本人の居住地区

日本人が多く住む地区・治安が比較的良いとされる高級地区として以下の 4 地区が挙げられる。特徴と共に示す。

図表 18-15 高級居住地区

種類	特徴
ジャルダン・パウリスタ地区	日本人が多く居住し、日本食材店等もある便利な地区。
パライゾ地区	日本人が多く居住し、塾・幼稚園等に通いやすい地区。新しいアパートが比較的多い。
セルケイラ・セーザル地区	居住している日本人駐在員は少ないが、高級アパートが多く建ち、近くにはブティック等があるおしゃれな地区。家賃は高め。
モエマ地区	パウリスタから遠いものの、近年日本人居住者が増えている。新しいアパートが多い。飛行機の騒音がやや問題。

(出所：サンパウロ/リオデジャネイロ/マナウスに暮らす、ジェトロ・サンパウロ・センター)

上記 4 地区以外にも様々な地域があるが、一度郊外に出ると、雰囲気が一変するエリアも非常に多い。住宅選びの際は、通勤距離だけではなく、そのエリアの雰囲気・治安も含めて検討すべきである。

③ 契約時のポイント

契約時のポイントとしては以下の点が挙げられる。

- ・ 法律上の契約期間は 30 ヶ月以上が基本となっている。
- ・ 一年毎に家賃が変動する可能性がある。
- ・ 保証人が必要となるが、駐在員の場合は勤務先が保証人になる場合もある。
- ・ 水回り等補修の負担はトラブルのもとになることが多々ある。事前に確認するべきである。
- ・ 退去の場合、契約の解除を予告する必要がある。

V-2. 食事・買い物事情

ブラジルにおいては、スーパーマーケットやショッピングモールでの買い物が一般的となっている。その他に、市街地には、バンカと呼ばれる新聞スタンドや小型店舗も数多くみられ、バンカと呼ばれている。週末に開催される蚤の市も盛況である。外食店舗も存在し、シュハスカリア（シュラスコ料理店）は日本でも有名である。

① スーパーマーケット

スーパーマーケットは、市街地・郊外ともに多くの店舗があり、食料品や日用雑貨を中

心とした品揃えである。大型店舗においては、電化製品やDVD、書籍等を扱う店舗も存在する。

現地のスーパーの他に、カルフルやウォルマートも進出しており、大型店舗を複数所有している。

② ショッピングモール

市街地・郊外共に存在し、主に衣料品や電化製品のテナントで構成されている。フードコートや映画館も併設され、週末の娯楽スポットとなっている。

③ バンカ等の小型店舗

中心市街地では、通りの歩道に小規模の簡易店舗を頻繁に目にする。これはバンカ（banca）と呼ばれ、新聞や雑誌のほか、飲料や菓子類などを扱っている。

また、市街地にはドラッグストアや雑貨店も多い。前者はトイレタリー製品や医薬品などを扱っており、日本におけるドラッグストアと大差ない。一方雑貨店では、トイレタリー製品や菓子類のほか、家庭用品、衣類、玩具なども扱っていることが一般的である。

④ 蚤の市

週末には、通りや公園で蚤の市が立ち、多くの人で賑わっている。主に、生鮮食料品、花卉、衣料品、土産品・工芸品などの店舗が並び、軽食を供する屋台も多く見られる。

ひとくちメモ①：日本円をブラジルでリアルへ換金するのは大変

ブラジルでは日本円の現金を現地通貨リアルに両替することは意外と難しい。米ドルやユーロとの間であれば、空港、ホテル、銀行など多くの場所で両替することができるが、日本円を受け入れている両替場所はさほど多くなく、換算レートも決して良いとはいえない。邦銀のブラジル拠点も現金による両替業務は行っていない。

サンパウロ滞在中であれば、旅行代理店・ツニブラ社の店舗が両替に便利である。日本円との両替のレートは米ドル等には劣るものの、それでも多くの両替場所よりはよいレートで両替サービスを受けることができる。同店舗は地下鉄のリベルタージ駅真上のリベルダージ広場から、Avenida Liberdade（リベルダージ通り）を挟んだすぐ対面に位置し、立地面でも利便性が高いといえる。

なお、ツニブラ社はブラジルにおける戦後の日系旅行会社の草分け的存在である。1949年に日伯交通社として設立され、2009年に創業60年を迎えた。

リベルダージ至近のツニブラ社店舗



VI. 交通事情

市民の足として広く定着している交通機関としては、地下鉄と路線バスがある。また、タクシーも一般的に利用されており、特に夜間の移動において利用されている。

ここでは、市内交通として、地下鉄、路線バス、タクシーについて記す。

VI-1. 地下鉄

現在、地下鉄は、5路線が開業しており、そのうち4号線は部分開業の段階である。一部の駅では郊外鉄道会社の路線と乗り換え接続することができ、サンパウロ州周辺の主要な郊外年を結んでいる。料金は距離に関わらず一律2.65リアルである（2010年12月現在）。

図表 18-16 サンパウロ市 近郊鉄道マップ



(出所 : <http://www.metro.sp.gov.br/>)

図表 18-17 各地下鉄路線の区間等

路線・色	区間	営業キロ	駅数
Linha1-Azul(青)	Tucuruvi ↔ Jabaquara	20.2	23
Linha2-Verde(緑)	Vila Madalena ↔ Cidade Tiradentes	38.4	31
Linha3- Vermelha (赤)	Palmeiras-Barra Funda ↔ Corinthians-Itaquera	22	18
Linha4- Amarela (黄)	Luz ↔ Vila Sônia (現在は部分開業)	12.8	11
Linha5-Lilás (紫)	Capão Redondo ↔ Chácara Klabin	19.8	17

地下鉄の駅



VI-2. バス

市民の足として最も利用されているものはバスである。市民に多く利用されるため、多様な路線が存在する。サンパウロ市内は道路が渋滞し動けなくなることもあるため、それを避けるため、専用レーン・優先レーンを有する路線もみられる。輸送量確保のための連結バスも一部で運行されている。また、一部路線ではトロリーバスも見られる。

大人数の乗車が可能となる連結バス（左：2連結、右：3連結）



トロリーバス



VI-3. タクシー

タクシーは日本と同様メーター制で料金が決まり、タクシーの種類・時間帯・曜日によって料金体系が異なる仕組みとなっている。(タクシーの種類は2種類あり、黒色のタクシーの方が料金は高い。)

乗車する際はタクシー乗り場・ホテル等から乗車することができ、走行中のタクシーをとめることも可能である。一部のタクシーを除き、クレジットカードを使うことはできない。また、おつりが無いこともあるので、なるべく高額紙幣を使わずに支払えるよう準備をしておくことが望ましい。

グアルーリョス空港からサンパウロ市内までタクシーを利用する際は、目的地の地区によって前払い一律料金のサービスを利用することができる。ターミナルビル前のカウンターで手続きをすることが可能で、ここではクレジットカードを利用することもできる。